

鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会子宮がん部会 鳥取県健康対策協議会子宮がん対策専門委員会

- 日 時 平成31年2月17日（日）午後1時40分～午後3時
- 場 所 鳥取県健康会館 鳥取市戎町
- 出席者 18人
渡辺健対協会長、皆川委員長
明島・宇佐見・大石・大野原・岡田・富山・長井・藤井・村江・脇田各委員
県健康政策課がん・生活習慣病対策室：山本課長補佐、尾田課長補佐
健対協事務局：谷口事務局長、岩垣課長、神戸係長
オブザーバー：永松鳥取市保健師

【概要】

・平成29年度は受診率24.7%、要精検率0.92%、精検受診率は87.5%。がん発見率0.03%、陽性反応適中度3.4%であった。要精検率は特に20～40歳代が高い。受診者数（率）はほぼ横ばい状態である。精検受診率は国の許容値70%以上は上回るもの、目標値90%以上には届いていない状況である。また、要精検率、がん発見率、陽性反応適中度、いずれも国の許容値に届いていない状況である。

30歳～59歳の受診率が50%以上あるが、米子市がHPV併用検診をHPV検査の自己負担無料で行っていた影響があると思われる。平成30年度から市単独事業として実施することとなり、受診者に個人負担をしていただくことになり、併用検診の受診者が減るのではないか懸念しているという話があった。

・子宮がん検診受診者32,138人中、体部がん検診対象者数は1,057人、一次検診会場での受診者は874人であった。一次検診会場で受診できず医療機関で別途検査した者

は21人、受診者の合計は895人、受診率は84.6%であった。一次検診の結果、要精検となった者16人、要精検率1.83%、精密検査受診者数は14人であった。精検の結果、子宮体部がんが3人発見され、がん発見率は0.34%であった。陽性反応適中度18.8%であった。子宮内膜増殖症は1件であった。

また医療機関での別途受診者から、子宮体部がんが3人発見されている。

挨拶（要旨）

〈渡辺会長〉

休日のところ、お集まり頂き、有難うございます。

委員の皆さんにおかれでは、鳥取県の75歳未満がん年齢調整死亡率は悪い状況ということは、ご存知だと思います。鳥取県、鳥取県健康対策協議会においても重要な課題で、対策等について検討を行っている。子宮がんについては、がん年齢調整死亡率は良い方である。全国的にHPVワクチンは接種が難しい状況であるが、予防も可能な対策も含めて、本会議で話し合っていただきたいと

思っている。

本日のニュースで杉並区の検診に関わる様々な課題として、検診の精度管理がきちんとできていなかったという報道がなされていた。鳥取県においては、精度管理、受診率向上対策等しっかりと永年とりくまれており、県民からの信頼も厚いと考えているが、75歳未満年齢調整死亡率が少しでも下がるように様々な対策をお願いする。今後とも、本県の子宮がん対策がより充実していくよう、ご協議の程、お願いしたい。

〈皆川委員長〉

本日は、原田部会長に代わって、私が議事進行を行いますので、よろしくお願いします。昨年度の委員会で決めていただいたが、精密検査の時に、なるべく細胞診による再検査をやめて、生検を行っていただくよう、手引きを改正した。その結果が、平成29年度検診実績に反映されているかどうかはわからないが、興味を持って見てみたい。よろしくお願いする。

報告事項

1. 平成29年度子宮がん検診実績報告及び平成30年度実績見込み・平成31年度計画について： 尾田県健康政策課がん・生活習慣病対策室課長補佐

〔平成29年度実績最終報告〕

(1) 平成29年度子宮頸部がん検診は対象者数（20歳以上のうち職場等で受診機会のない者として厚生労働省が示す算式により算定した推計数）129,896人のうち、受診者数32,138人、受診率24.7%で、平成28年度に比べ受診者数は691人、受診率は0.5ポイントそれぞれ増であった。30歳～59歳の受診率は50%以上で目標値をクリアしている。過去3年間に検診を受診している経年受診者割合は77.7%で例年通りであった。

また、国の地域保健・健康増進事業報告の受診率の算定方法が20歳から69歳までとしていることを受けて、参考までに同様に算定したとこ

ろ、対象者数59,087人、受診者数26,521人、受診率44.9%であった。

一次検診の結果、要精検者数は295人（判定不能で再検査未実施となった者を含む）、一次検査の結果判定不能で、再検査の結果、判定不能だった者が36人であった。要精検率は0.92%で、平成28年度に比べ、要精検者数が73人、要精検率が0.21ポイントそれぞれ増加した。

そのうち、精検受診者数258人、精検受診率87.5%で平成28年度に比べ4.2ポイント増加した。

精検の結果、がん10人、がん発見率（がん／受診者数）は0.03%で、前年度と同率であった。陽性反応適中度（がん／要精検者数）は3.4%であった。異形成は130人（軽度72人、高度58人）で、平成28年度に比べ40人増であった。

受診者数（率）はほぼ横ばい状態である。精検受診率は国の許容値70%以上は上回るもの、目標値90%以上には届いていない状況である。また、要精検率、がん発見率、陽性反応適中度、いずれも国の許容値に届いていない状況である。

皆川委員長から、報告様式について、CIN分類になって健康増進報告の様式も変わっているはず。そちらの様式に合わせたほうが良いとの意見があり、確認のうえ、次回報告から改めることになった。

※確認した結果、国の健康増進報告様式は、平成26年度検診分からCIN分類に対応した様式が適用され、健康対策協議会への報告様式については平成30年5月に様式を改正済で平成30年度検診から適用しており、平成31年度報告から改正後の様式に改めます。

(2) 子宮がん検診受診者32,138人中、体部がん検診対象者数は1,057人、一次検診会場での受診者は874人であった。一次検診会場で受診できず医療機関で別途検査した者は21人、受診者の合計は895人、受診率は84.6%であった。

一次検診の結果、要精検となった者16人、要精検率1.83%、精密検査受診者数は14人であった。精検の結果、子宮体部がんが3人発見され、がん発見率は0.34%であった。陽性反応適中度18.8%であった。子宮内膜増殖症は1件であった。

また医療機関での別途受診者から、子宮体部がんが3人発見されている。

脇田委員より保健事業団の「判定不能」がゼロになっていることについて、件数が多い事業団の検診でゼロは違和感があるとの意見があり、保健事業団で確認をいただくことになった。

〔平成30年度実績見込み及び平成30年度計画〕

平成30年度実績見込みは、対象者数129,896人、受診者数は32,824人、受診率25.3%で、平成29年度に比べ約686人増加する見込みである。また、平成31年度は、受診者数約33,000人を予定している。

委員から、30歳～59歳の受診率が50%以上であるが、米子市がHPV併用検診をHPV検査の自己負担無料で行っていた影響があると思われる。平成30年度から市単独事業として実施することとなり、受診者に個人負担をしていただくことになり、併用検診の受診者が減るのではないか懸念しているという話があった。

HPV併用検診を今後どのように取り込んでいくのか、慎重に検討する必要があるという話があった。

〈地域保健・健康増進事業報告より〉厚生労働省ホームページで公開

国が示した「がん検診のためのチェックリスト」を用いて本県の精度管理に活用することとし、健対協で把握できないチェック項目リストのうち国がホームページで公開している項目（検診受診歴（初回・非初回）別の要精検率等、偶発症

の有無、精検未把握率）について、報告があつた。

平成27年度報告の上記項目の集計結果は、検診受診歴別の要精検率、がん発見率、陽性反応適中度の比較から、初回受診者からより高い傾向があることから、初回受診者の受診勧奨が課題である。

要精検者のうち、精検受診の有無がわからない者及び（精検を受診したとしても）精検結果が正確に把握できていない者の精検未把握率は、国の許容値は10%以下である。鳥取県は5.4%で許容範囲内であった。

また、重篤な偶発症は全国で一次検診では17件、精密検査では2件報告されており、鳥取県は一次検診、精密検査ともに偶発例は報告されていない。

2. その他：

山本県健康政策課がん・生活習慣病対策室課長補佐報告

（1）平成29年75歳未満がん年齢調整死亡率

平成29年の75歳未満がん年齢調整死亡率が、11月19日に国立がん研究センターホームページで公表された。鳥取県は平成29年は86.0（昨年84.1）、都道府県別順位はワースト2位（46位）と悪化。子宮がんについては、全国でも上位4位といい成績であった。

（2）「全国がん登録」のデータによる初のがん罹患数（2016年）について

1月16日に厚生労働者が「全国がん登録」のデータを活用し、2016年（平成28年）に新たにがんと診断された罹患数を公表した。

- ・2016年に新たにがんと診断された患者は、全国で995,132人、鳥取県で5,125人。
- ・人口10万対のがん年齢調整罹患率は、全国で402.0。

鳥取県は422.3（41位：ワースト7位）。男性522.3（45位：ワースト3位）、女性346.7（21位）。

子宮がん検診従事者講習会及び症例検討会

日 時 平成31年2月17日（日）

午後4時～午後6時

場 所 鳥取県健康会館「研修センター」

鳥取市戎町

出席者 52名

（医師：39名、保健師3名、検査技師：
10名）

岡田克夫先生の司会により進行。

委員長 皆川幸久先生の座長により、大阪大学大
学院医学系研究科産科婦人科学講師 上田 豊先
生による「子宮頸がんの予防の現状と課題」につ
いての講演があった。

症例検討

鳥取大学医学部附属病院女性診療科講師 大石
徹郎先生の進行により、症例5例について症例検
討が行われた。

講 演

鳥取県健康対策協議会子宮がん対策専門委員会

鳥取県医師会メーリングリストへご参加下さい

鳥取県医師会では、地域における医師会情報・医療情報の共有と会員同士の親睦を目的に、下記の“メーリングリスト”を運営しています。

1. 総合メーリングリスト（話題を限定しない一般的なもの）
2. 連絡用メーリングリスト（医師会からの連絡などに用いるもの）
3. 緊急用メーリングリスト（医師会のサーバが使えない緊急時に用いるもの）
4. 学校医メーリングリスト（学校医（幼稚園、保育所を含む）に関連した話題を中心）

参加ご希望の方は鳥取県医師会事務局までご連絡ください。

鳥取県医師会（E-mail kenishikai@tottori.med.or.jp）